

月刊 本草閣 かわら版

7月9日 第108号



発行所 和薬・漢方 本草閣
「本草閣かわら版」
林 譽史朗 著
よもやま話 松岡
編集 川出
[文責 林 譽史朗]

本文は本草閣HPにも掲載されています。



赤ちゃんが欲しい！

不妊(男・女)治療について



不妊の相談として

- ・ 出来れば、自然に妊娠したい。
- ・ 結婚して数年になるが、子供が出来ない。
- ・ まだ産婦人科には行きたくない。
- ・ 産婦人科にて治療を受けているが妊娠しない。
- ・ 妊娠するが流産してしまう。
- ・ 第二子が出来ない。
- ・ 検査では問題ないのに、子供ができない。
- ・ ホルモン治療で体調を崩してしまった。
- ・ パートナーの精力減退。などの相談を受けます。



子供は「天からの授かりもの・預かり物」です。しかしながら、現代では生活習慣・ストレス・晩婚化など多くの原因により、男女ともに多くの人が子供を授かりにくい状態にあります。

最近の婦人科の不妊治療では「人口体外受精」などが行われますが、漢方の不妊治療は、



身体全体のバランスを良くし、自分自身の力で妊娠し、出産できる体に整えていきます。

西洋医学は、「部分」を治療することを得意としますが、漢方では「身体全体」を見つめ、また「その人の生活習慣や性格等すべて」を見つめます。

ですから「不妊治療」決まった不妊治療薬」というわけではなく、その人それぞれ薬は異なります。人によっては月経の周期リズムに合わせ、低温期、高温期、月経期とそれぞれ体調によって薬を変え

＜女性の不妊の原因＞

病名 子宮発育不全・子宮内膜症・子宮筋腫・月経困難症・卵巣のう腫 など

症状 生理不順・生理痛・無月経・冷え性・寒がり・頭痛・疲れやすい・肩凝り・流産癖・PMS 生理前症候群 など

これらの症状に対して漢方的な考えで全身症状を改善し、子宮・卵巣・膀胱・小腸・大腸等の血液循環を良くします。これにより御本人に合った女性ホルモンが分泌できるよう体質改善されれば、懐妊・出産も自ずとしやすくなります。

なお、漢方で自然妊娠・出産といっても、難しい状態であることが多々あります。

長年ホルモン治療を行い、薬により身体のバランスを著しく崩していたり、高齢であったりする場合は、時間をかけて治療したり、産婦人科の不妊治療と合わせた漢方薬の服用より、妊娠・出産を目指します。

男性の不妊について

精子の数・活動率・奇形率等を指摘されることが多いと思いますが、全身症状を良くするのが先と考

えます。

症状を奥様と同様お聞きして適切な漢方薬をお渡ししたいと思えます。

お時間がある時、二人と一緒にご相談にいらして下さい。



民間薬よもやま話

第6回 当帰・・・セリ科

トウキは本州中部以北の山地に自生する植物で、夏から秋にかけて、白い小さな花を沢山つけます。



Angelica acutiloba

全草に強いセロリに似た芳香を持つため、生の葉は民間的に入浴剤としても使われており、ひびやしもやけにも良いとされています。

漢方では婦人薬の主薬であり、鎮静、鎮痛、強壯薬として腹痛、月経痛、妊婦のむくみなどに効果があり、当帰芍薬散、当帰建中湯等に配合され、また婦人産後の要薬でもあります。

高橋良忠著 近代漢方薬ハンドブックより



好いて好かれた二人の間でも、若妻に赤ら顔ができたなら、ホルモンの分泌不良・貧血のために御主人へのサビも不足しがちとなる。打閉薬は、まず、若妻は当帰を服用すること。

当帰の服用でホルモンも適当、貧血も治る。サビも十分。そこで御主人も楽しい我が家を放っておくものか。

当帰(まさにかえるべし)となる。

当帰は家庭圓滿の福の神である。

手、足を暖める作用が強いので、冷え症、血色の悪いもの、血行障害、頭痛、貧血など、広く応用されています。

飲み方は、一日約10gを煎じて一日3回、食間、食前に服用します。

当帰酒

体を暖め、血行をよくし、便秘にも○

当帰50g
グラニュー糖 100g
ホワイトリカー 720ml

密封し冷暗所で約3~6ヶ月熟成

ガーゼでこして保存

一回量20ml/日を就寝前に服用

*軟便や下痢気味の方は飲まない方がよい

和薬・漢方の本草閣 本店

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-21-17 (JR鶴舞駅西)
TEL (052)241-3388 FAX (052)241-3443
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
E-Mail kanpouyaku@honsoukaku.co.jp

営業時間 10:00~19:00
定休日 一 木・日曜
祝日 一 木・日曜以外営業

<http://www.honsoukaku.co.jp/>



お盆休み

本店 8/10(日)~14(木)
緑店 8/13(水)~17(日)

和薬・漢方の本草閣 緑店

〒458-0016 名古屋市緑区上旭1-622 (滝の水公園西)
TEL (052)899-0221 FAX (052)899-0236
・名鉄バス 鳴海駅より 滝ノ水口 下車
・地下鉄 野並駅より 市バス(大清水行・太子行) 滝ノ水公園下車
E-mail midori@honsoukaku.co.jp

お薬の発送 8/9(土) 午前中まで
お薬の発送 8/12(火) 午前中まで